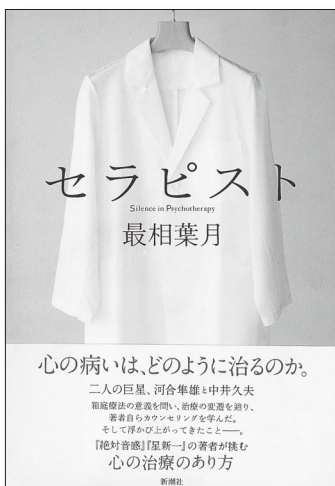




セラピスト

最相葉月＝著

定価1944円（本体1800円＋税8%） 新潮社 ☎03-3266-5411

ベストセラー『絶対音感』の著者が挑む、心の治療のあり方。密室で行われ、守秘義務があるため、外からはうかがい知れないカウンセリングの現場。呼称や資格が乱立し、値段もバラバラ、「信頼できるセラピストに出会うまで5年かかる」とも言われる。「心」をめぐる取材は、そんなカウンセリングへの不審と、河合隼雄を特集した雑誌の1本の論文をきっかけに始まった。うつ病患者100万人突破のいま、必読のノンフィクション。

現代思想 5月号

定価1404円（本体1300円＋税8%）
青土社 ☎03-3292-7076

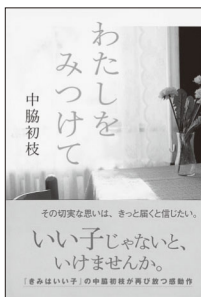


特集は、「精神医療のリアル——DSM-5時代の精神の〈病〉」。精神医療の現場に過去から現在まで存在してきたあらゆる課題に、さまざまな切り口からアプローチしており、読み応え十分。本号の特集記事で取り上げた、統合失調症の新しい治療法「オープンダイアログ」について、斎藤環氏が書かれた記事も掲載されている。

わたしをみつめて

中脇初枝＝著

定価1512円（本体1400円＋税8%）
ポプラ社 ☎03-3357-2305



誰かの仕打ちで、ひとは傷つく。でも、ほかの誰かのひとことで、生きていけるようになる。施設で育ち、今は准看護師として働く弥生は、問題がある医師にも異議は唱えない。なぜなら、やっと得た居場所を失いたくないから。話題作『きみはいい子』の著者が、医療現場をリアルに描き、そこにある問題にも鋭く切り込んだ、話題の書き下ろし長編。

カウンセラーは何を見ているか

信田さよ子＝著

定価2160円（本体2000円＋税8%）
医学書院 ☎03-3817-5657



カウンセラーとして、「聞く力」はもちろん大切。しかしプロなら、あたかも素人のように好奇心を全開にして、相手を「見る」ことが必要だ。では著者は何をどのように見ているのか？ 若き日の精神科病院体験を経て、開業カウンセラーの第一人者となった著者が、身体でつかみ取った「見て」「聞いて」「引き受けて」「踏み込む」ノウハウを公開している。

ユマニチュード入門

本田美和子、イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッティ＝著

定価2160円（本体2000円＋税8%）
医学書院 ☎03-3817-5657



認知症ケアの新しい技法として注目を集める「ユマニチュード」。攻撃的になったり、徘徊するお年寄りを“こちらの世界”に戻す様子は、「魔法のような」とも称される。しかし、これは魔法でも奇跡でもなく、伝達可能な〈技術〉。開発者ふたりと日本の臨床家が作り上げた入門書の決定版。この本に書かれているのは《常識》、しかし常識を徹底させると革命が起きる！